

日時・場所	令和5年5月8日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、佐野副市長、西村教育長、遠藤議会事務局長、布施政策調整部長、川尻総務部長、長尾市民部長、武内市民部政策監、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、駒井健康福祉部政策監、岡崎都市建設部長、西村環境経済部長、馬野教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

- 新型コロナウイルス感染症について、本日から感染法上の2類から5類へ移行した。しかし、コロナウイルスがなくなるわけではないので、一定の感染対策をしながら日常生活に戻していただきたい。
- 連休中に、大津市長と懇談する機会があり、様々な情報交換を行った。各部長とも共有したいと考えている。
- 今年度の兵主まつりは規模を縮小されたとのことだが、多くの方が来られ大変賑わっていた。来年度、規模が戻ったら更に賑わうことを願っている。
- 昨夜の大雨の影響で、関係課の職員に水防活動で出動いただいた。ご苦労様でした。

2. 議題

【報告事項】

①令和6年度当初予算における予算要求等について

令和4年度予算要求時に導入をした枠配分方式について、予算は限りがあるものという職員への意識づけは一定できたものの、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響もあり、一般財源額が大幅に増えている状況となっている。そこで、枠予算を発展的に拡大していき、予算総額を抑制しつつ、各部署で事業のメリハリをつけ取捨選択をしていく仕組みに変えていく方針である。また、サマーレビューの実施により、財政需要等を把握し、中期財政見通しへの反映と配分額の調整につなげていくことなども想定をしている。

→扶助費の取り扱いについて、去年は枠から除外されていたと思うが、今年はどう想定されているのか。

→基本的に、扶助費も義務的経費の中で対応していく。その他の事業費の圧縮も考えられるので、一般財源ベースの粗枠の中で検討していくことになる。

→十分に検証いただきたい。

→もともと枠配分に人件費は含まれていなかった。今回は人件費も枠の対象になると思うが、サマーレビューで人件費を踏まえて議論ができるのか疑問である。考え方をもう少し詳しく教示いただきたい。

→人件費の取り扱いをどうするのか、行革の視点で言うと、昨年度から時間外勤務の削減に取り組んでいただいたが、今回は一般財源ベースでの議論という中で、今後、総務部と協議していきたい。

→この資料は財政状況が厳しいということを共有するためのものなのか。

→今の状況を共有するとともに、行革については、引き続き取り組みが必要であり、さらに今回は、枠配分の予算の取組を発展的に拡大していく。

- 昨年度に取組まれた行革の流れを踏まえて資料をまとめるべきではないか。また、義務的経費に含まれる扶助費について、高齢化や支援が必要な人が増えており今後も伸びると思われる。一方で税収は伸びないことが想定される。これは構造的な問題であり、もう少し原因分析をしないといけないのではないか。
- 行革推進プランにおいて、枠予算の導入、発展的な拡大を位置付けており、公共施設等整備基金の毎年1億5千万程度の積立てと、財政調整基金15億円の維持を目標に取り組を進めているなかで、枠予算を発展的に拡大するもので、現状の分析結果については、今後、職員説明会等で説明させていただく。
- 厳しい状況になった、考えられる要因は。
 - 様々な経費が積みあがったこと、事業が増えたこと、燃料費、人件費の高騰など行革推進プラン作成時には読み取れなかったことが要因と考えられる。
- 資料にあるように、各部で予算の優先順位を決めて調整してもらうことが大事である。サマーレビューで義務的経費を精査して、最終的な削減見込み等を考えていく前提の資料という位置づけで良いか。(副市長)
 - そうである。実際の来年度予算の圧縮額はサマーレビューを経て需要見込みを立てた上で提示させていただく。分析については、もう少し踏み込んだ分析ができるのか検討する。

②工事請負契約の変更について

令和4年第1回市議会定例会で議決を得た、総合体育館大規模改修工事（建築主体工事）の契約金額を変更することについて、地方自治法第96条第1項第5号及び野洲市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求める。主な変更内容については、機械室等の館内各所室建具改修工事、大アリーナ2階観覧席ランニングロード床シート張り替え及び手すり再塗装、2階ベランダ花壇の漏水対策工事等の追加で、現契約から12,906,300円を増額し、451,036,300円に契約変更するものである。

3. 次回部長会議の予定

5月15日（月）9時00分～ 庁議室

4. 閉会